

国宝・重要文化財の地獄絵が最先端技術で甦る 体験型展覧会『地獄に堕ちる展』

11 月 28 日(土)より「大阪・なんばパークスミュージアム」で初の開催決定

地獄に堕ちる展製作委員会は『地獄に堕ちる展』を 2026 年 11 月 28 日(土)～12 月 27 日(日)の 30 日間、大阪・なんばパークスミュージアムにて初開催します。

本展は、実はあまり知られていない「地獄の世界」を、古来より日本で描かれてきた地獄絵図や十王像などの歴史的文化財を用いて、現代の解釈と体験型演出で紐解く展覧会です。

会場内では、TOPPAN が誇る最先端のデジタルアーカイブ技術による、高精細な文化財の再現実寸大を展示します。歴史的な絵画の細密な筆致や経年の風合いまでもが忠実に再現され、まるで本物の文化財が目の前にあるかのような臨場感とともに、間近でじっくりとご鑑賞いただけます。

さらに空間演出には、大阪万博をはじめ数々の大型映像プロジェクトを手掛けるクリエイティブスタジオ「KOO-KI」が参画。最新の映像技術と空間プロデュースによる、まるで地獄の世界に迷い込んだかのような圧倒的な没入体験をお楽しみください。



開催概要

- タイトル 『地獄に堕ちる展』
- 開催期間 2026 年 11 月 28 日(土)～12 月 27 日(日) 11:00～19:00
※開催期間中無休
※最終入場は閉館の 30 分前まで
- 会場 なんばパークスミュージアム
〒556-0011 大阪市浪速区難波中 2-10-70 なんばパークス 7F
- 公式サイト https://www.event-td.com/jigoku_exhibition/
- 主催 地獄に堕ちる展製作委員会
- 企画制作 KOO-KI
- 企画協力 TOPPAN
- 協力 ABC テレビ
- 入場券 前売・当日共通 一般・大学生:2,800 円 高校生以下:1,500 円
※3 歳以下無料(未就学児の単独入場はご遠慮ください)
※料金は税込み
- チケット発売 8 月 27 日(木)12:00 よりローソンチケットにて販売開始
プレイガイドURL: <https://l-tike.com/event/mevent/?mid=791448>
- 問い合わせ先 jigoku_exhibition@event.tokyo-dome.co.jp(展覧会事務局)

◆地獄に堕ちる展とは

「悪いことをすれば、地獄に堕ちる」

幼い頃に聞かされたその教えを、私たちはどこかで覚えています。

そんな老若男女すべての人が存在を知っている「地獄」。

しかしながらその道のりや、そこで何が待ち受けているのかを

私たちはどれほど知っているのでしょうか。

古来、地獄は悪事への戒めとして恐怖を描くと同時に、

死の先にある不安に対して、人々が思い描いてきた答えでもありました。

将来への不安や不確実性が増す現代において、

人はなぜ“怖いもの”に惹かれるのか。

本展は、ただ恐ろしいだけではない、

人々の想像力と死生観が生み出した地獄の姿を、

没入感ある体験とともにご紹介します。

——そして、その旅の果てに待つのは。

全員、地獄いき。

◆主な展示内容(みどころ)

1.亡者として辿る、死後の世界

人は死してなお、どこへ彷徨うのか。

本展は「死」そのものを起点に、地獄の最深部へと至る壮大な巡礼ルートを描き出します。

肉体の解体を見つめる「九相図」、現世と冥界の狭間

「中有」、生前の業を冷酷に映し出す「十王裁判」、そして奈落

の底に広がる「八大地獄」。地獄文化研究の第一人者で

ある田村正彦氏の監修による展示を巡りながら、日本人が

脈々と受け継いできた死生観の体系を静かに紐解きます。



2.動く地獄絵—蘇る“責め苦”のイマーシブ体験

国宝・重要文化財に刻まれた怨嗟と呻きが、現代のデジタルアートとして覚醒します。

巨大スクリーンに映し出されるのは、動き出し、襲いかかってくる鬼と亡者たちの蠢き。最新の映像演出と、数々の大型映像プロジェクトを手掛けるクリエイティブスタジオ「KOO-KI」による空間プロデュースで、観る者を恐ろしくも美しい「地獄の絵物語」の只中へと没入させます。



3.刻を超えて対峙する、古典美術の神髄

通常は非公開とされる至高の文化財を、実寸大の超高精細技術で再現。画面から立ち上る絵師たちの執念、いにしえの人々が震え上がったリアルな戦慄、そして暗闇の底で捧げられた救済への祈り。そのすべてと至近距離で対峙する、極上の鑑賞体験をお届けします。



◆主な展示

国宝や重要文化財などの貴重な展示品は、TOPPAN が誇る最先端のデジタルアーカイブ技術による高精細な再現実寸大として展示します。

①重要文化財 六道絵

鎌倉時代(13世紀)

極楽寺所蔵【出力物】

画像提供: 奈良国立博物館



※画像は展示作品の一部です

②国宝 地獄草紙

平安時代～鎌倉時代(12世紀)

奈良国立博物館所蔵【出力物】

画像提供: 奈良国立博物館



※画像は展示作品の一部です

③奈良県指定文化財 大地獄絵

長岳寺所蔵【出力物】



※画像は展示作品の一部です

④閻魔王像

田村正彦氏所有



◆監修

田村正彦

1972 年生まれ。岡山県津山市出身。文学と絵画という視点から、地獄の文化史に関する研究を行っている。著書に『描かれる地獄 語られる地獄』(三弥井書店)、『てくてく地獄さんぽガイド』(グラフィック社)など。子供向けの概説書である『地獄の歩き方』や『鬼大図鑑』(いずれも金の星社)の監修も手掛ける。TBS テレビ「マツコの知らない世界」では「日本の地獄の世界」を紹介するなど、地獄文化研究の第一人者として、幅広く活動している。



※画像はイメージ。

※詳細は、公式サイトをご確認ください。

※イベント内容は、状況により内容・実施時間などが変更となる場合があります。

※展示作品の画像素材をご使用の際は、必ず記載の出典元を添えてください。